

**sawai**

サワイグループホールディングス株式会社

# 国民の健康を守る医薬品の供給を支えるために どうすべきか？—持続可能な未来への挑戦

2025年3月29日(土)

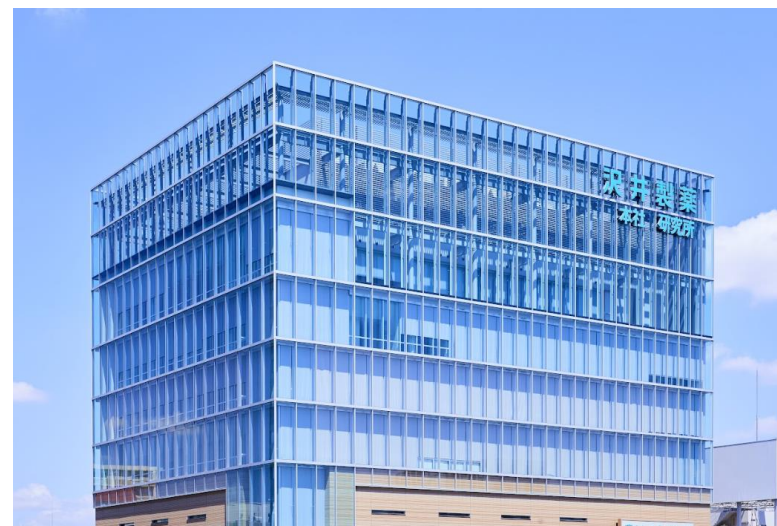
東京証券取引所 プライム市場  
証券コード:4887

医療用医薬品供給量国内シェアトップの沢井製薬を中核としたヘルスケア企業グループ

会社名	サワイグループホールディングス株式会社
創業	1929年4月
設立	2021年4月
資本金	100億円
本社	大阪市淀川区
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:4887)
代表者	代表取締役会長兼社長 澤井 光郎
事業内容	グループの経営管理および 関連する業務を担う持株会社
従業員数	3,037名 (連結、2024年3月末)
連結業績	売上収益 1,769億円、 コア営業利益 239億円、 営業利益 186億円 (2024年3月期)

## ■ 企業理念

なによりも健やかな暮らしのために



大阪市淀川区：本社ビル外観

- ・ 創業以来90年以上の歴史
- ・ ジェネリック医薬品をつくって55年

1929年 大阪市旭区に澤井範平、乃よ(薬剤師)が沢井製薬の前身、**澤井薬局を創業**

1948年 大阪市旭区に**沢井製薬株式会社(現 沢井製薬株式会社)を設立**

1965年 一般用医薬品メーカーから**医療用医薬品メーカーへシフト**

2003年 **東京証券取引所市場第一部上場**

2021年 **サワイグループホールディングス設立  
持ち株会社体制へ移行**

2022年 **沢井製品の受託製造企業として  
トラストファーマテックを設立**

2024年 **2017年に買収したUpsher-Smithを台湾企業へ売却  
米国事業から撤退**

**中期経営計画「Beyond 2027」を発表**

**患者さんのお薬代が約半額になります**

なによりも患者さんのために **医薬品は品質こそ生命です**

薬は命を助ける大切な存在です。その品質が命を救うために不可欠です。サワイは、患者さんにとって最も大切な「お薬代」を約半額に抑えるために、品質と価格の両方を追求しています。

1. 高い品質を追求し、信頼性の高いお薬を提供します。  
2. 患者さんの負担を軽減し、お薬の継続的な服用を促します。  
3. 最新のハイテク工場での生産による品質と価格の両立を実現。  
4. 患者さんにとって最も大切な「お薬代」を約半額に抑えます。

**医薬品は品質は品質の一部と捉えず、**  
製剤から最終製品まで徹底した品質管理を行っています。

**高品質の製品を生み出すハイクリーン工場**

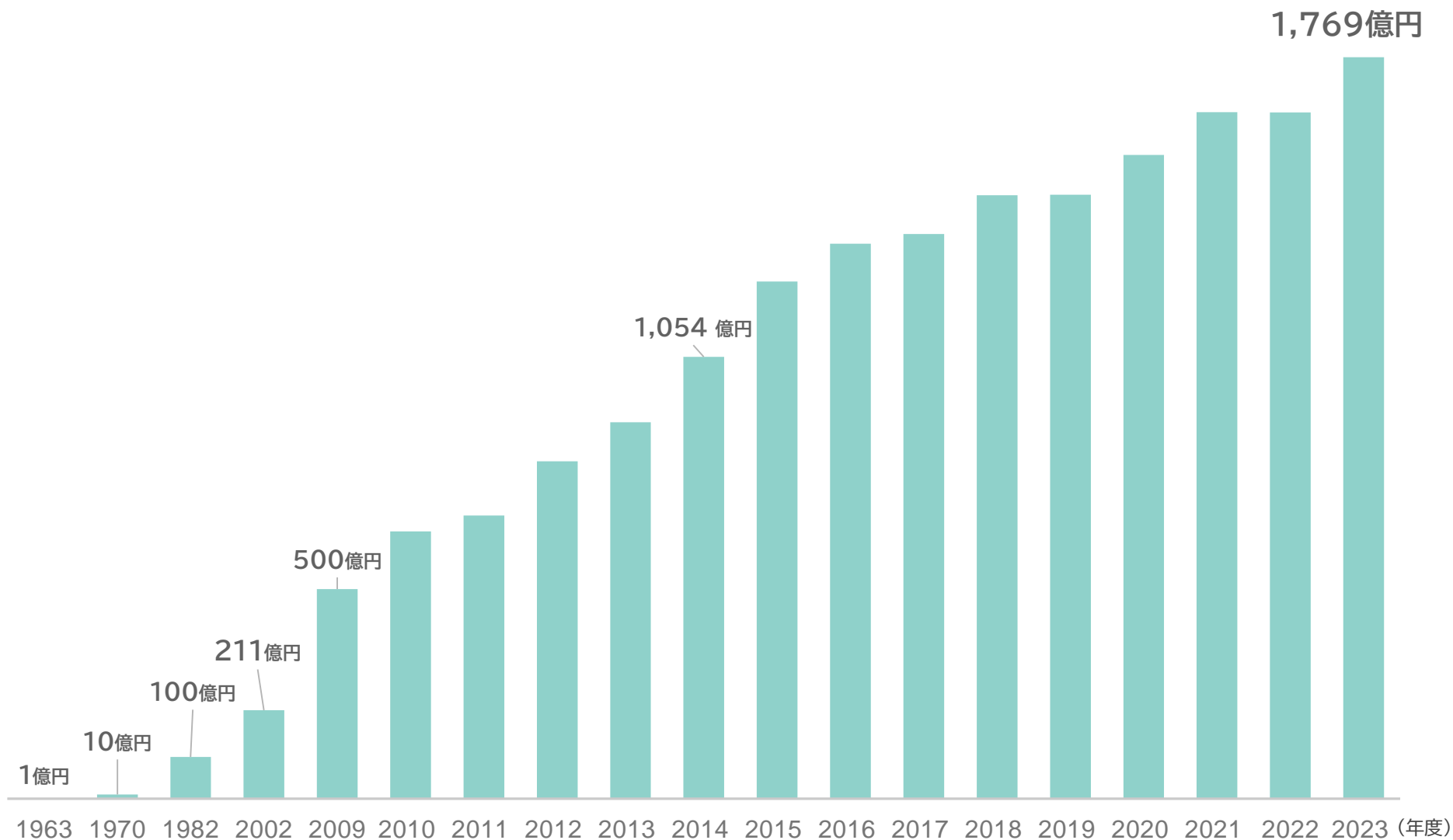
なによりも患者さんのために  
**沢井製薬株式会社**  
SAWAI PHARMACEUTICAL CO., LTD.

〒105-8505 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカイビル  
TEL: 03-6456-1111 FAX: 03-6456-1112  
Eメール: sawai@saikai-pharm.co.jp

1997年、新聞広告掲載を開始(デザインは当時)

## これまでの成長の軌跡 売上収益

ジェネリック医薬品の成長を見据えた先行投資が奏功し、着実に成長



— Part1 ジェネリック医薬品とサワイの存在意義

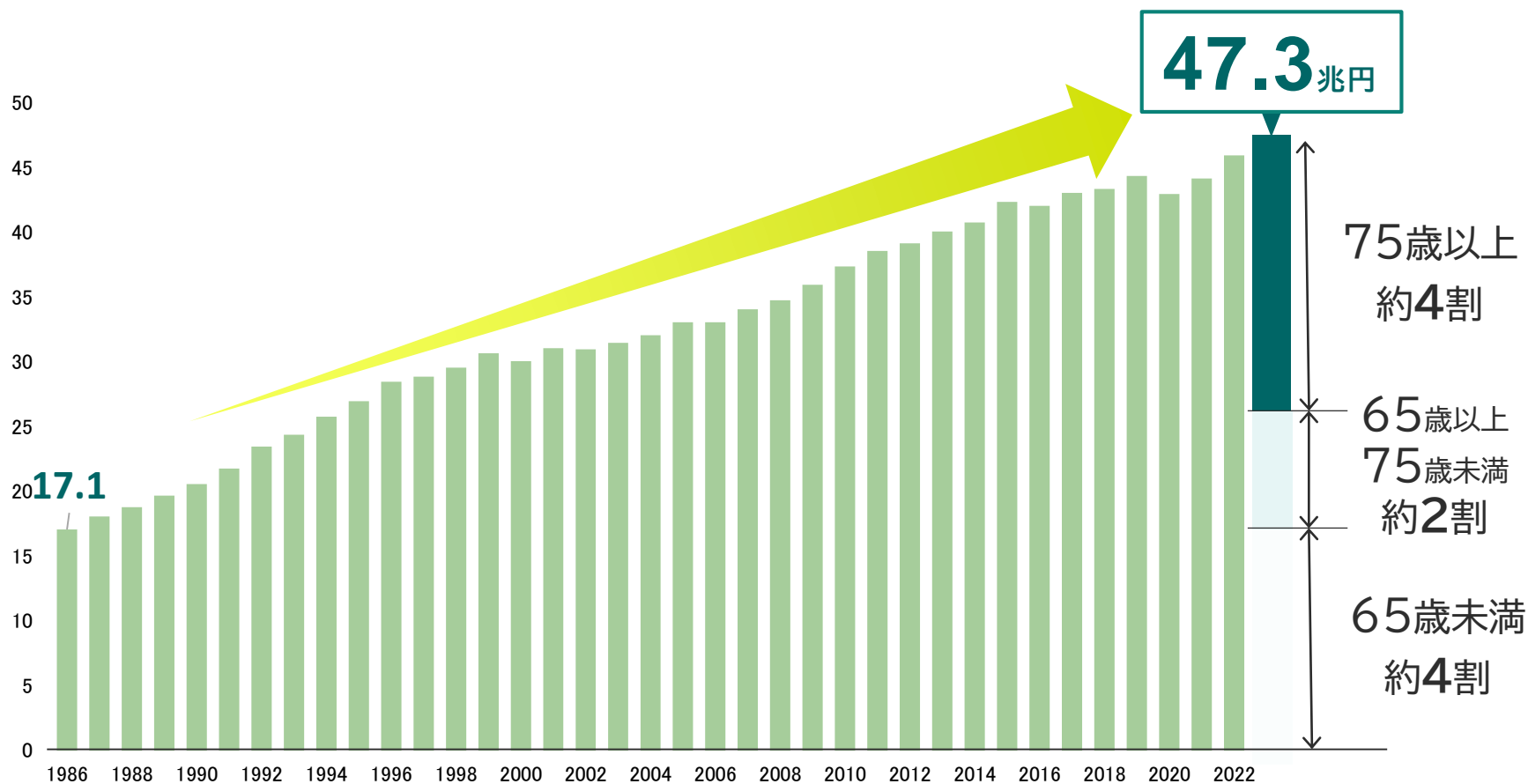
Part2 当社を取り巻く外部環境

Part3 サワイの強み

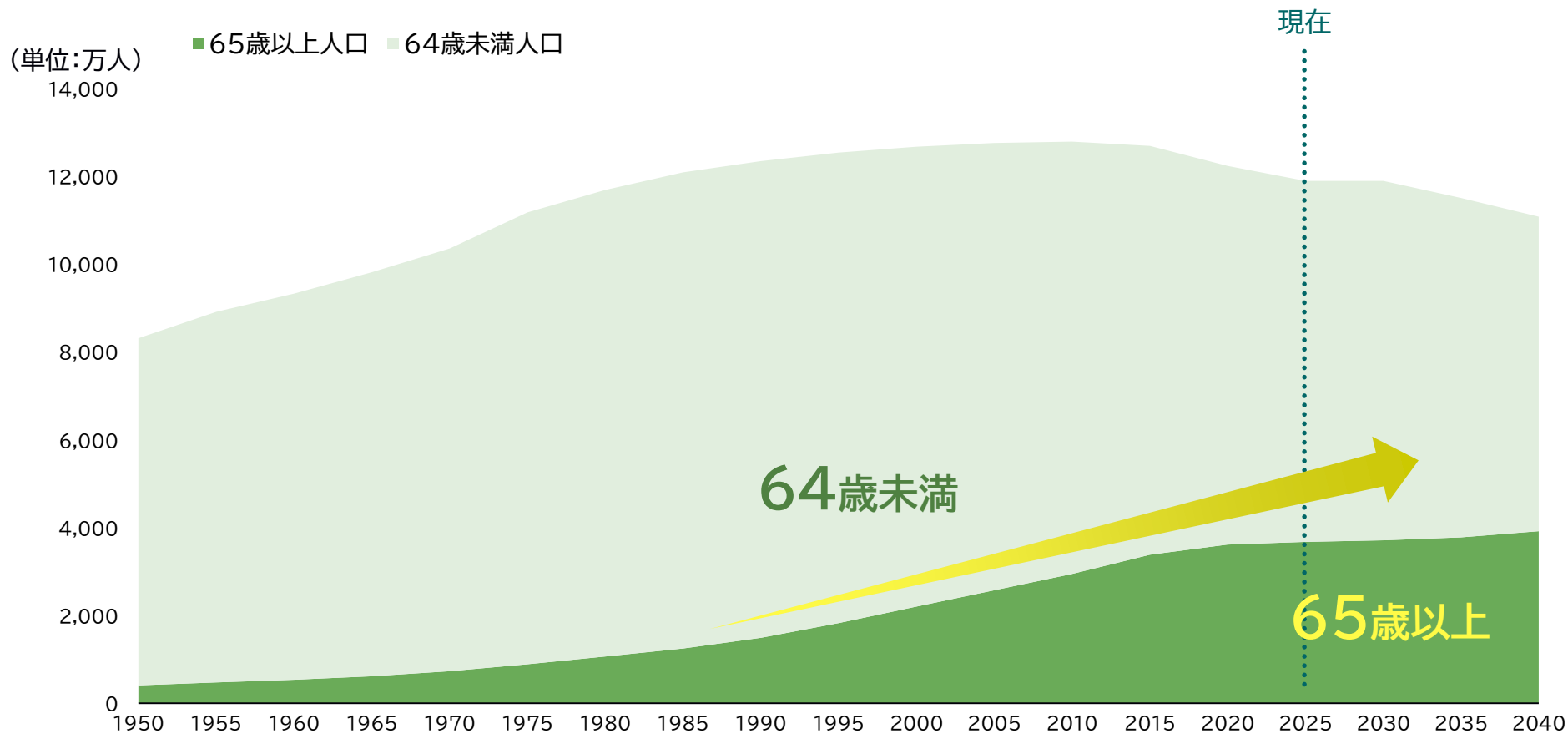
Part4 成長戦略

高齢化に伴い国民医療費は年々増加

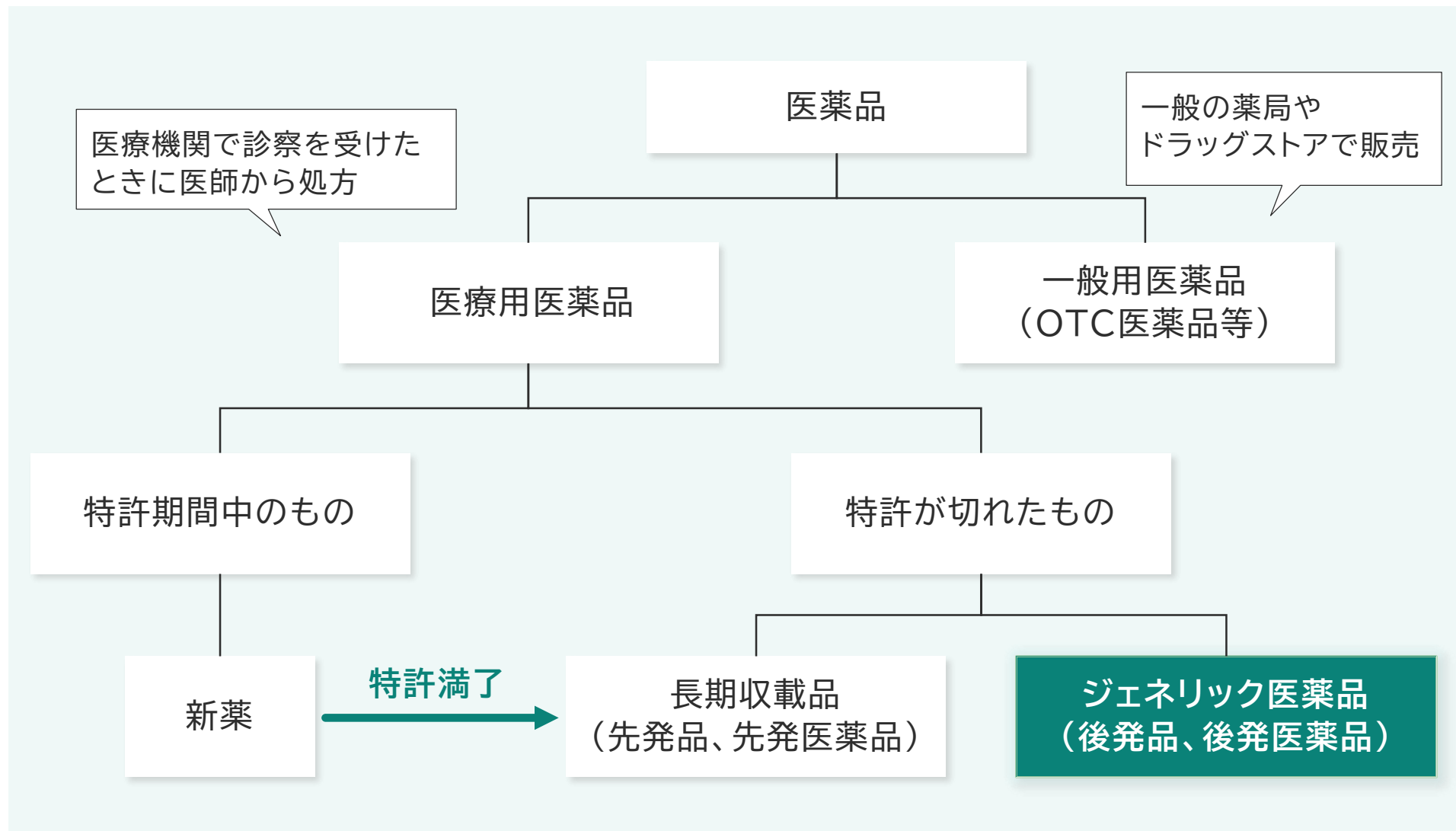
(単位:兆円)



総人口は減少するが、65歳以上の人口は今後も増加



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに当社作成



## ジェネリック医薬品とは？

# 新薬と同等の効き目で価格が安いお薬

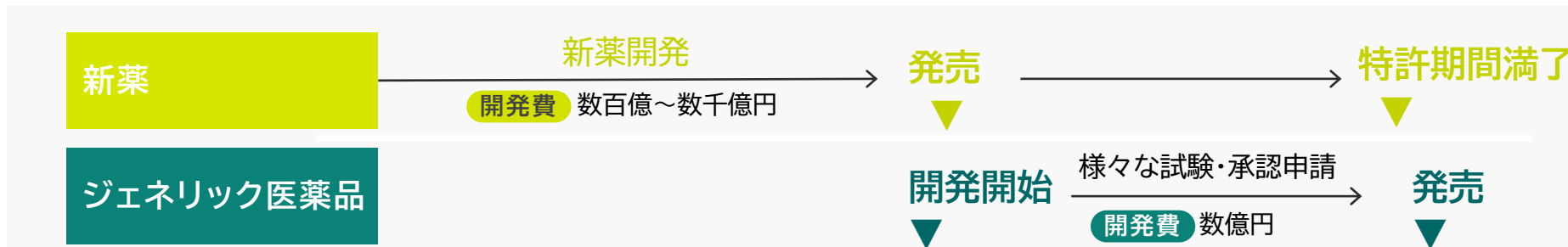


- ✔ ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使用してつくられており、効き目や安全性が新薬と同等であると確認されている

## ジェネリック医薬品の特徴

有効成分	有効成分の量	効き目	安全性	お薬代	形状・色・味
新薬と同一	新薬と同一	新薬と同等	新薬と同等	新薬より安い	飲みやすく工夫された製品もある

- ✔ 新薬と比べて開発にかかる費用が少ないため、お薬代が安くなる



※ 欧米では一般名(ジェネリック:generic name)で処方されることからジェネリック医薬品と言われている。

医療費を縮小できるジェネリック医薬品への切り替えを国が推奨

# 医薬品全体に占めるジェネリック医薬品の割合

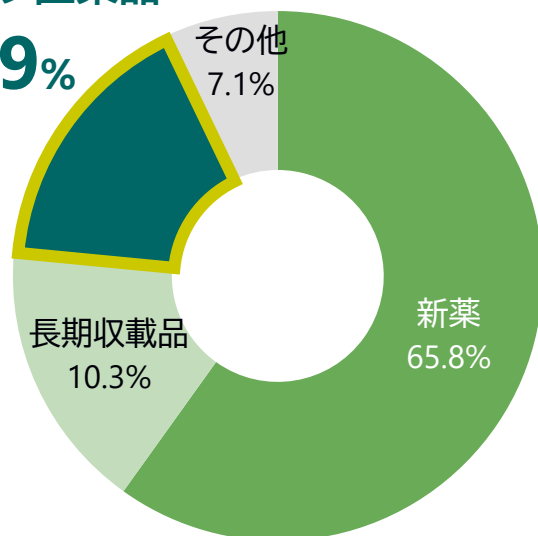
金額シェア16.9%に対し、数量シェアは54.4%を占める

## ■ 医薬品シェア内訳

### 金額シェア

ジェネリック医薬品

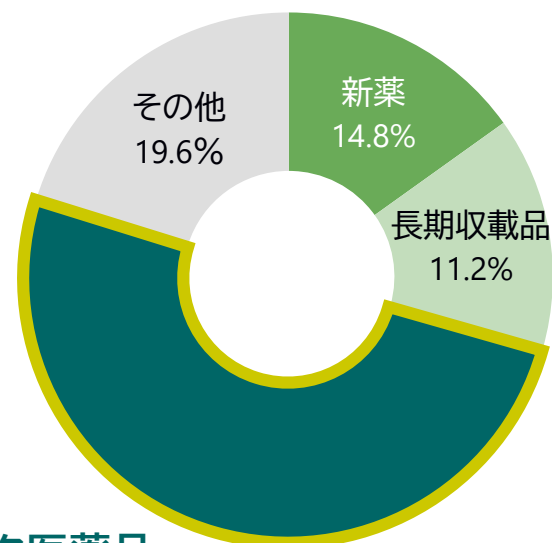
16.9%



### 数量シェア

ジェネリック医薬品

54.4%



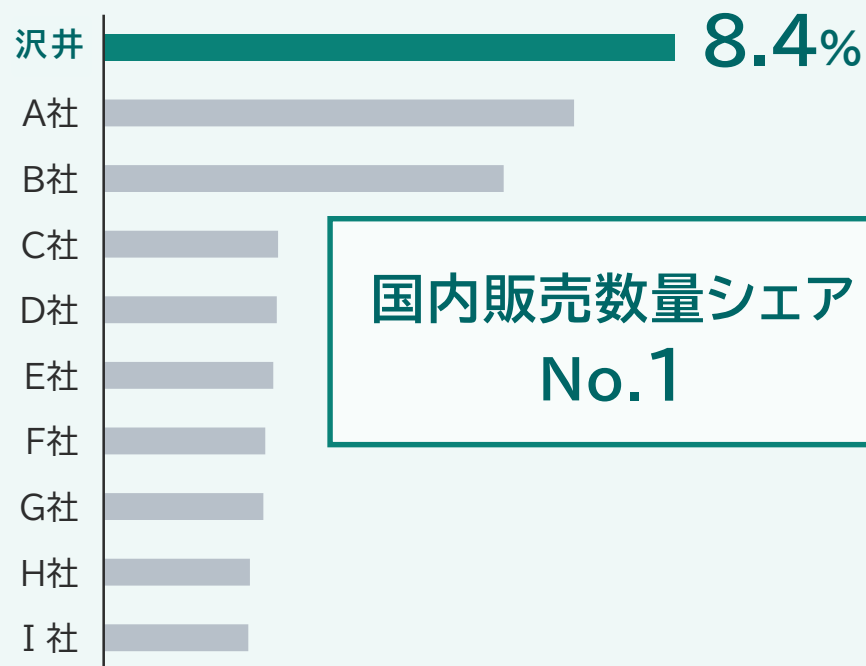
出典:厚生労働省「令和7年度薬価基準改定の概要」より当社作成



年間 **130錠** **3**日に**1錠**

- 沢井製薬はジェネリック医薬品専門企業として、国内のジェネリック医薬品全体の17%、医療用医薬品全体の8.4%を供給
- 2023年度は薬価ベースで約2,939億円の医療費節減に寄与

## ■ 企業別医療用医薬品販売錠数(国内)



## ■ 当社製品による医療費節減総額

年間約**2,939**億円  
当社ジェネリック医薬品のすべてが先発品  
で使用されたと仮定した場合の差額

Part1 ジェネリック医薬品とサワイの存在意義

Part2 当社を取り巻く外部環境

Part3 サワイの強み

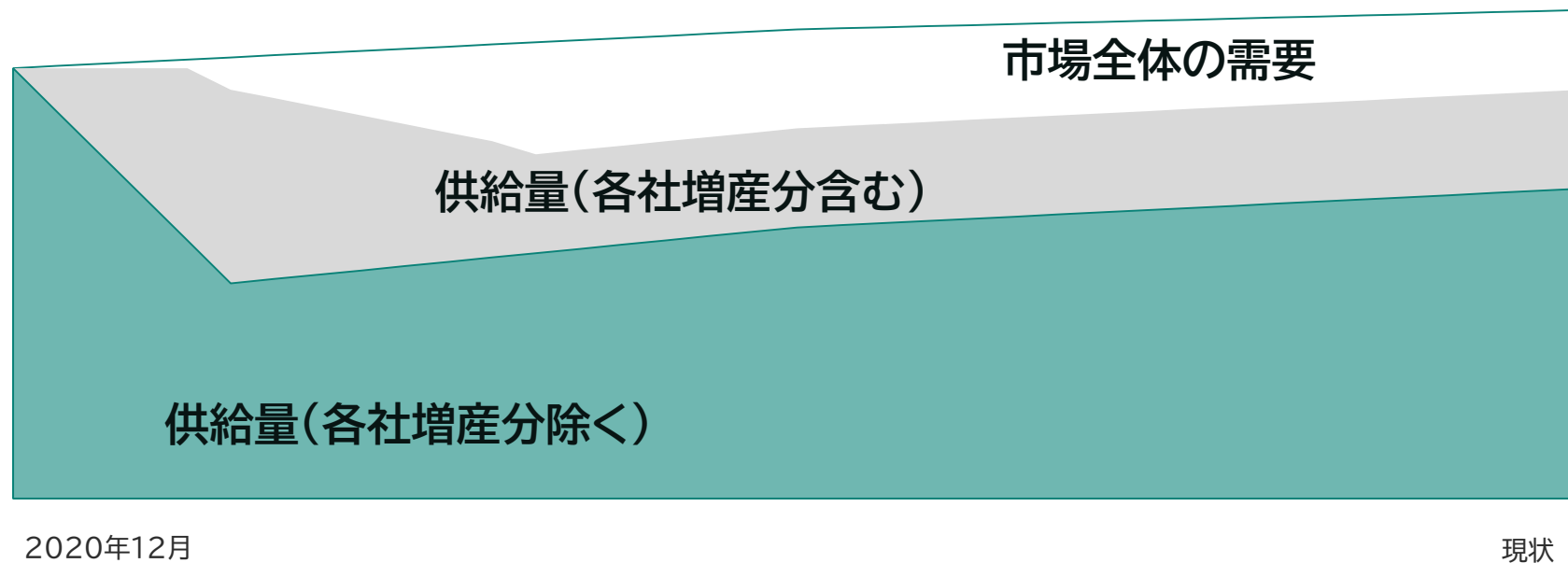
Part4 成長戦略

藥不足

# 特定企業の不祥事にもなう出荷停止

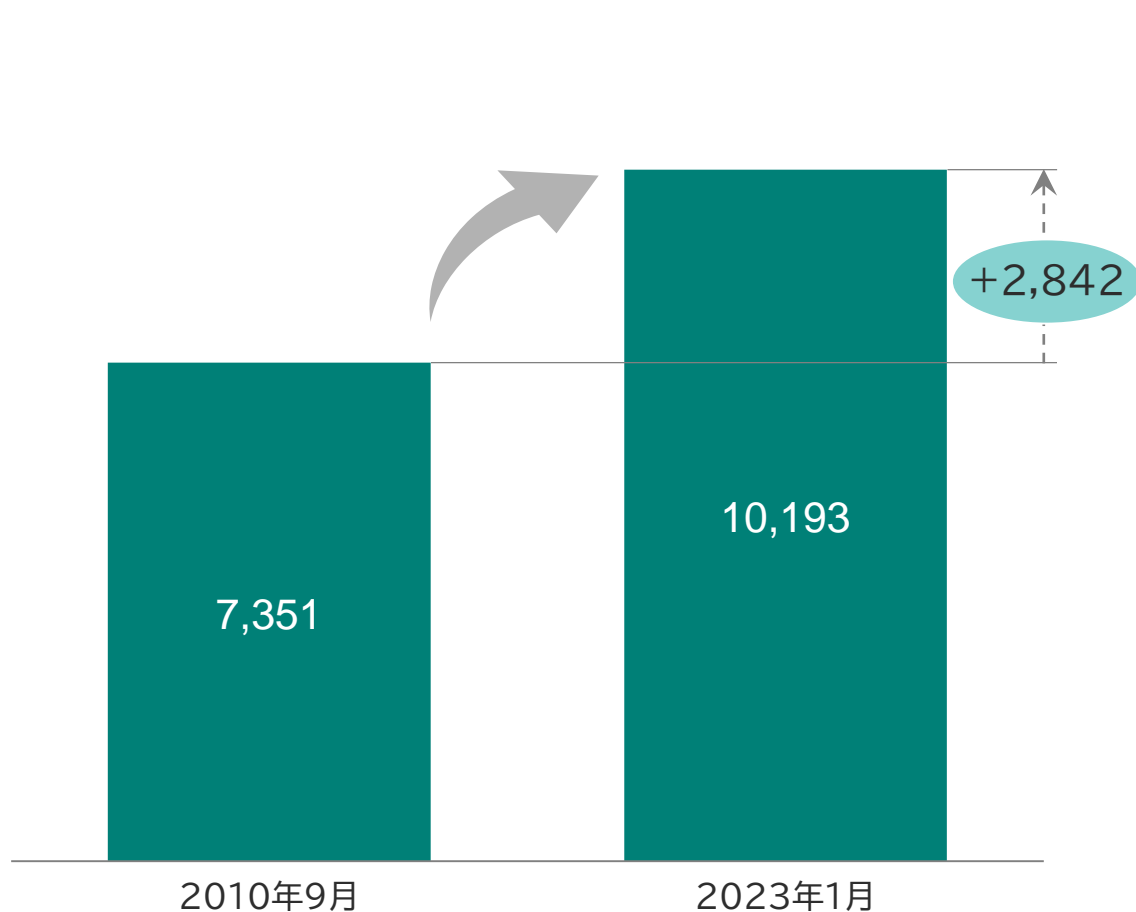
- 2020年12月以降、競合他社の相次ぐGMP(法令)違反が発生し、行政処分による供給停止にもなう供給不足が発生
- 当社含め各社が増産対応をするも、市場全体の需要には対応できていない
- 現在でも約14%の医薬品が出荷停止・限定出荷の状況

## ■ 需要・供給のイメージ



ジェネリック医薬品の品目数は増加の一途をたどっており、製造・流通の非効率に繋がっている

## ■ ジェネリック医薬品の品目数



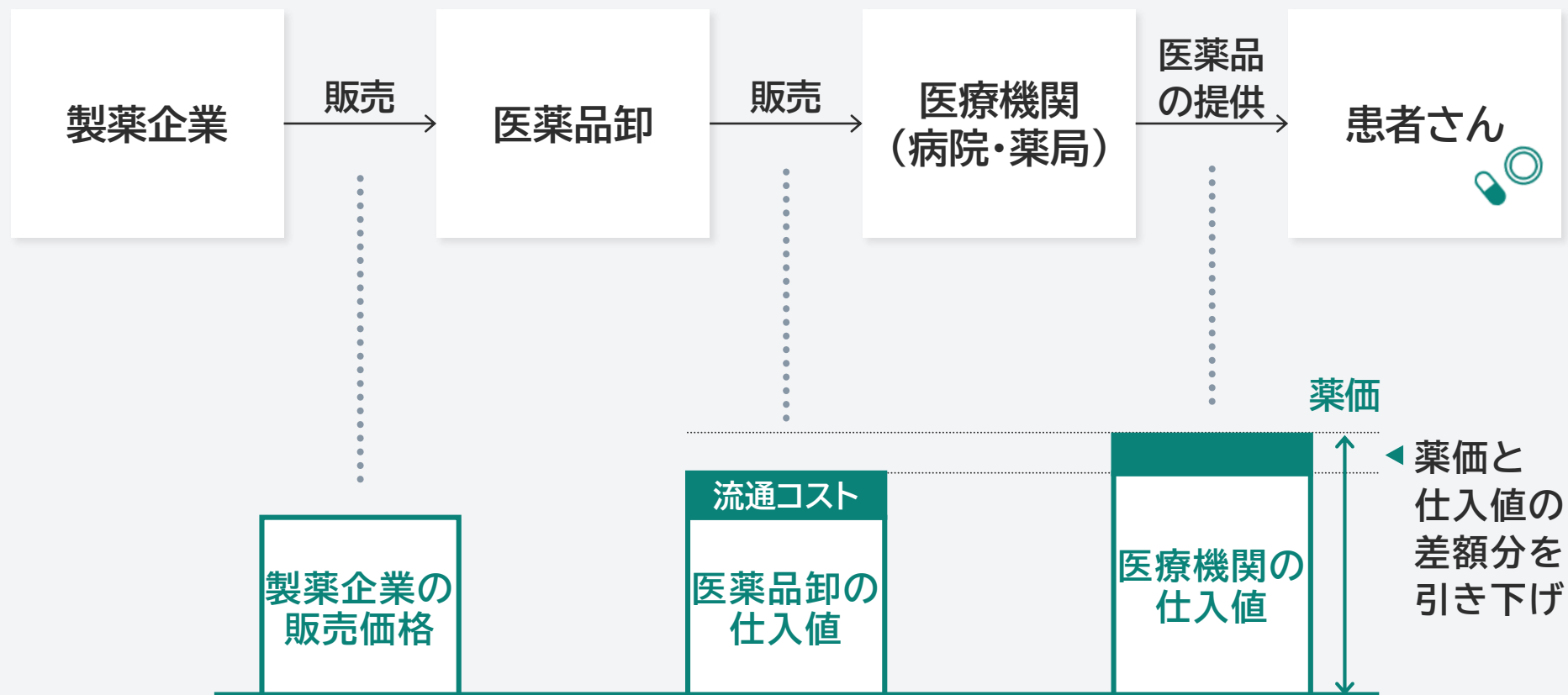
- ジェネリック医薬品品目数増加がジェネリック医薬品の製造の非効率化（少量多品目生産）の一因となっている
- 卸・医療機関・薬局の在庫負担にも繋がっている

Note: 2023年1月時点ジェネリック医薬品品目数:10,193; 包装単位数:27,770

# 薬価改定にともなう収益性の低下

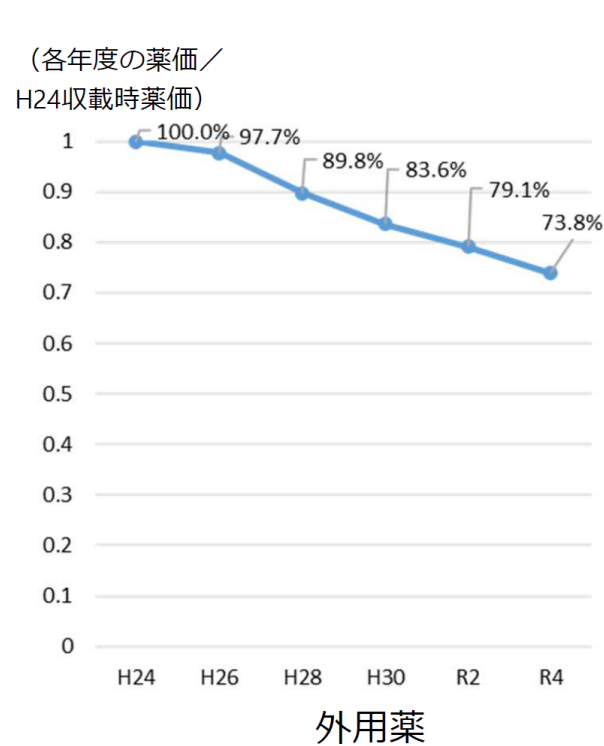
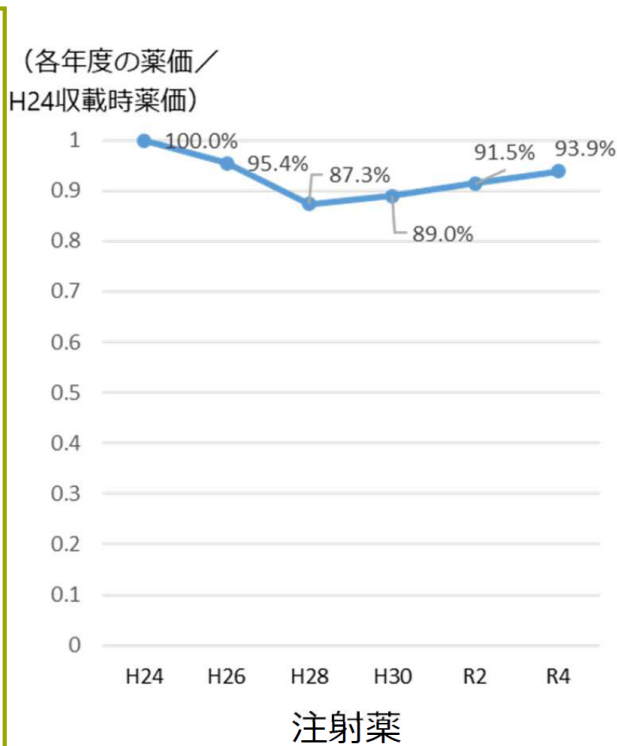
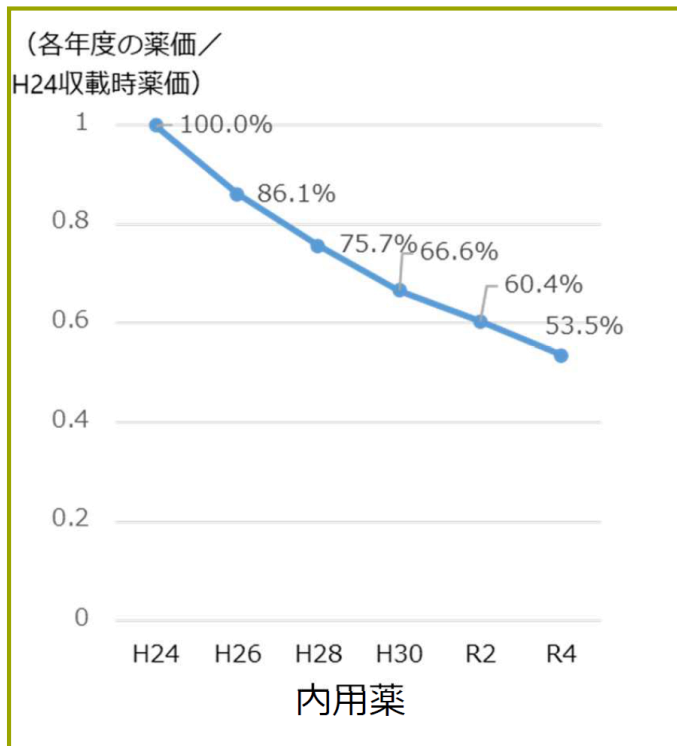
医療機関の仕入値調査の結果をもとに、薬価が引き下げ

## ■ 薬価改定のイメージ



# 薬価改定にともなう収益性の低下

サワイが主に扱う内服薬を中心にジェネリック医薬品の価格が下落



平成24年6月、12月に薬価掲載された後発品（1,074品目）について、各年度の4月1日時点の薬価を比較

出典：医薬産業振興・医療情報企画調べ

## 社会的課題

### 国民医療費の増大

国民医療費  
〔 45.0兆円 (2021年度) 〕

### 超高齢社会

〔 日本の人口に占める  
65歳以上の割合  
29.1% (2023年9月) 〕

安価で安全な  
医薬品へのニーズ

医薬品の  
供給不足

## 目標数値と直近の薬価制度改革の主な内容

### 目標数値

- 主目標** 数量シェアを2029年度末までに全ての都道府県で80%以上
- 副次目標** ①2029年度末までに、「バイオシミラーに80%以上置換した成分数」が全体の成分数の60%以上とする  
②ジェネリック医薬品の金額シェアを2029年度末までに65%以上とする

### 企業評価

企業の①供給に関する情報の開示、②予備対応力、③供給実績、④薬価の乖離状況などを可視化。能力と実績がある企業を薬価面で優遇する仕組み

### 不採算品、最低薬価の引き上げ

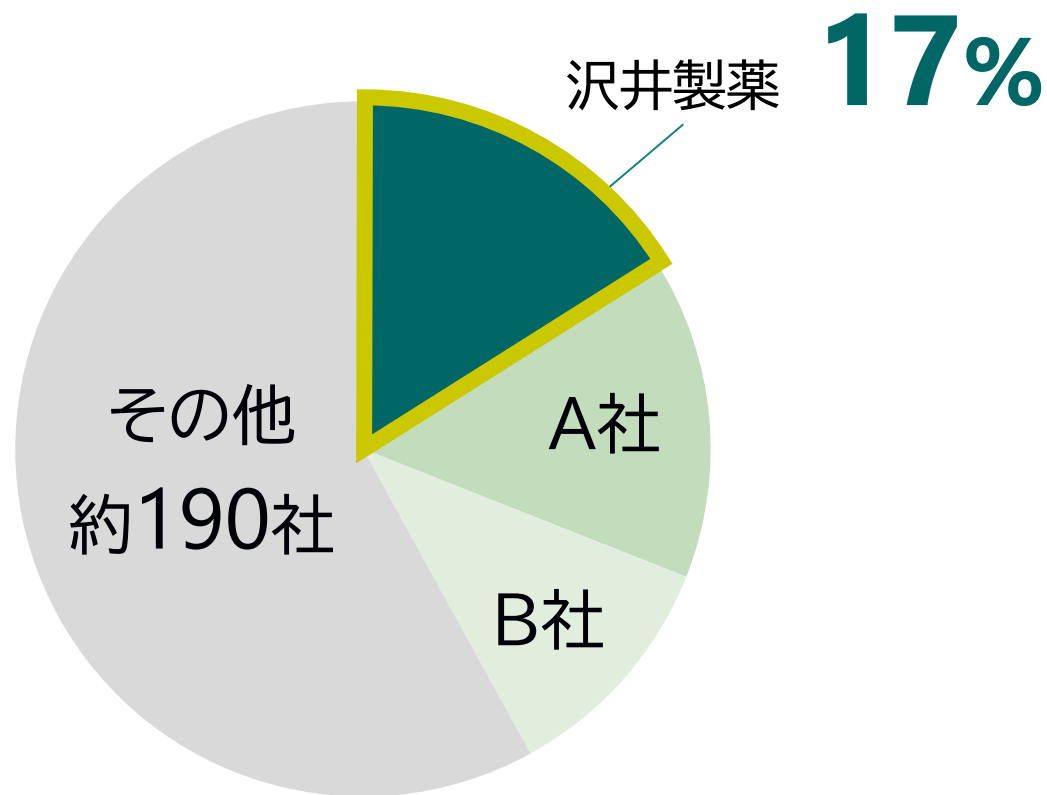
- 不採算品再算定** 原価高騰や供給問題への対応として、企業から希望のあった不採算品目について特例的に薬価引き上げを実施
- 基礎的医薬品** 対象品目の要件を収載後25年⇒15年に緩和
- 最低薬価** 2025年度に最低薬価を一律に3%引き上げ

### 選定療養

患者さんが、選定療養の対象となる長期収載品を選択する場合、ジェネリック医薬品との薬価差の一部(1/4)を患者の自己負担とする制度、2024年10月より導入

# 現在のジェネリック医薬品業界の市場シェア

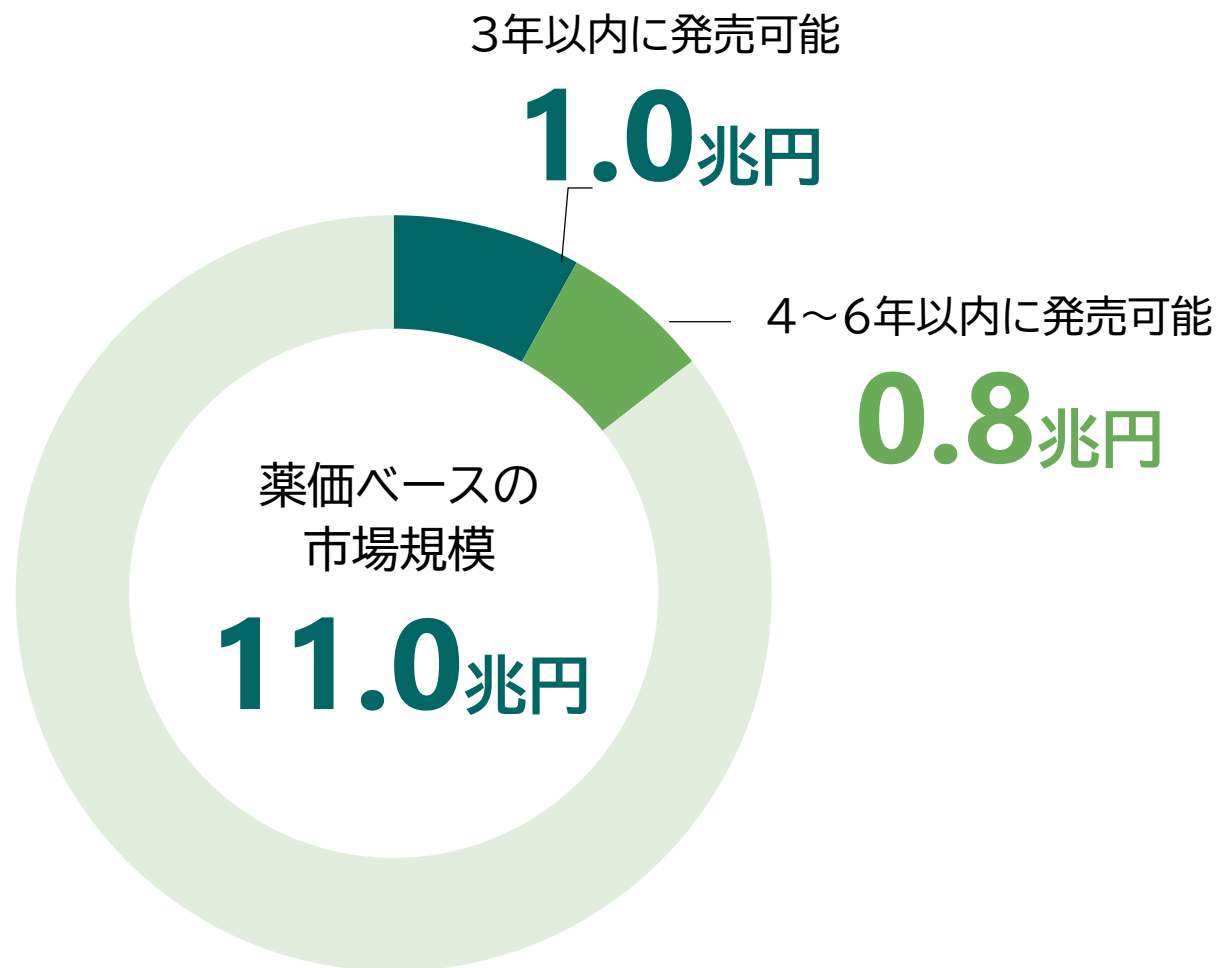
今後は淘汰・再編が進むと予想



※ シェアは当社推計値

# 2030年度までに新たに低分子のジェネリック医薬品が発売可能な市場 sawai

今後もジェネリック医薬品市場は拡大



Part1 ジェネリック医薬品とサワイの存在意義

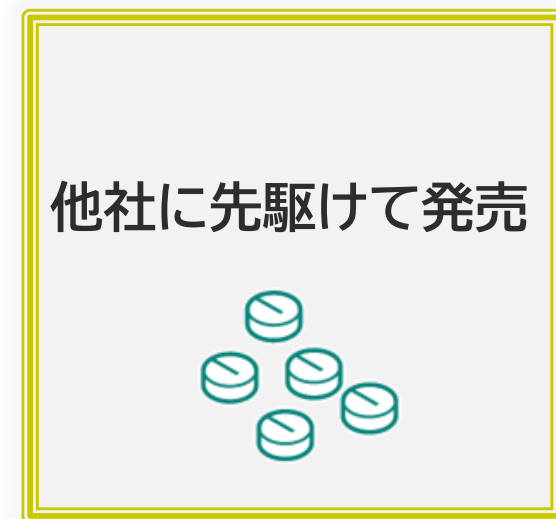
Part2 当社を取り巻く外部環境

Part3 サワイの強み

Part4 成長戦略

生き抜くための要件 (求められる企業の姿)	当社の特徴・強み
製品開発力	<ul style="list-style-type: none"><li>先発品の特許に関する調査分析力</li><li>原薬の性質や製剤技術に精通した人財による製剤技術力</li></ul>
生産の効率化・安定供給力	<ul style="list-style-type: none"><li>多品種少量生産に対応する製造ノウハウ</li><li>業界トップクラスの生産能力</li></ul>
品質関連規制対応 積極的な情報開示	<ul style="list-style-type: none"><li>品質と安全性を第一にした原材料の選定・調達</li><li>徹底した品質管理</li><li>当社の品質管理体制に関し、積極的に情報を公開</li></ul>
安定した収益力・ 強固な財務基盤	<ul style="list-style-type: none"><li>過去5年間の営業キャッシュフロー 年平均265億円</li><li>自己資本比率55.7%、R&amp;Iの信用格付け「A-安定的」</li></ul>

集積された調査・分析力で他社に先駆けた販売を実現し、高い市場シェアを獲得



## 過去のケース

- ◆ 先発品の用途特許について特許無効審判を請求、無効審決となり**先行発売**
- ◆ 特許を回避して製剤化を実現

※ 医薬品の特許:物質特許、用途特許、結晶形特許、製法特許、用法用量特許、製剤特許

「タイムリーでスピーディーな開発」かつ「新薬と同じ有効成分・同等の効き目」でさらにより良い品質の医薬品を製造

## 患者さんのための工夫

カプセルの錠剤化



大きくて飲みづらいカプセル剤を錠剤に変更

錠剤の小型化



サイズが大きく飲みづらい錠剤を小型化

飲みやすい製剤



口腔内崩壊錠(OD錠)、ゼリー剤などに改良

味の改良



コーティングなどを施して、苦みを少なくする

## コ・メディカルの方々のための工夫～処方・調剤しやすいように改良～

錠剤分割性の改良



錠剤の割線を工夫して分割しやすいように改良

表示



製品名を大きく表示

取り出しやすさ



PTPシートから錠剤を取り出しやすくする

安定性の改善



温度、湿度、光などに対する安定性を改善

## コ・メディカルの方々のための工夫～医療過誤防止安全性改良～

容器改良



改良前  
改良後  
安プルやバイアルを割れにくく、安全性を改善

キット製品



プレフィルドシリンジ、バッグなど、そのまま投与できる製剤に改良

表示の明確化



PTPシートなどに製品名、規格や薬効を表示



有効性・安全性は先発製剤と同等であることは前提に、社会課題や患者さんの不安に応えるため付加価値を追求した医薬品を開発



**核粒子製造技術**

**MALCORE®**  
マルコア  
溶媒の代わりに熱を使う発想で開発された製造技術 [さらに詳しく >](#)

**QALCORE®**  
カルコア  
少量の水だけで核粒子をコーティングできる製造技術 [さらに詳しく >](#)

**DRACORE®**  
ドラコア  
薬物溶解液を吸着させるだけで薬物含有核粒子ができる製造技術 [さらに詳しく >](#)

**フィルムコーティング技術**

**THRUOCOAT®**  
スルーコート  
水で表面をゲル状にする製造技術 [さらに詳しく >](#)

**SARACOAT®**  
サラコート  
光や衝撃などから保護しつつ、速やかに溶ける製造技術 [さらに詳しく >](#)

**速崩壊錠製造技術**

**SARAMEL®**  
サラメル  
オリジナル添加剤を使った製造技術 [さらに詳しく >](#)

**印字技術**

**INJIKEEP®**  
インジキープ  
インクが定着しやすい3つの技術 [さらに詳しく >](#)

**製剤評価技術**

**ODITEX®**  
オディテックス  
データに基づき客観的に評価 [さらに詳しく >](#)

**TASTEYE®**  
テイストアイ  
錠剤の味と香りをAIを用いて評価する技術 [さらに詳しく >](#)

有効性・安全性は先発製剤と同等であることは前提に、社会課題や患者さんの不安に応えるため付加価値を追求した医薬品を開発



QualityHug®とは・・・  
科学と技術で患者さんに寄り添う、患者さんの「心配」や「不安」に応える沢井製薬のオリジナル技術

**Kazaria®** カザリア

Kazaria。(カザリア)とは  
錠剤表面にさまざまな模様をつける技術

**NOXANA®**  
ノクサナ

NOXANA。(ノクサナ)とは  
薬をつくるときに生じる  
ニトロソアミンのリスクを予測する技術

**SUPRENA®**  
サブレナ

SUPRENA。(サブレナ)とは  
ニトロソアミンの生成を抑える添加剤

当社の生産能力は国内最大規模の205億錠

## 九州工場（福岡県飯塚市）

敷地面積：70,351㎡  
生産能力：25億錠



## 第二九州工場（福岡県飯塚市）

敷地面積：60,395㎡  
生産能力：46億錠



## 三田工場 （兵庫県三田市）

敷地面積：14,686㎡  
生産能力：48億錠



## 三田西工場 （兵庫県三田市）

敷地面積：23,136㎡  
就業人数：約210名  
※包装のみを実施



## 鹿島工場 （茨城県神栖市）

敷地面積：146,200㎡  
生産能力：21億錠



## 関東工場 （千葉県茂原市）

敷地面積：135,857㎡  
生産能力：35億錠



## トラストファーマテック （福井県あわら市）

敷地面積：89,150㎡  
生産能力：30億錠



# 生産能力増強に向けた取り組み

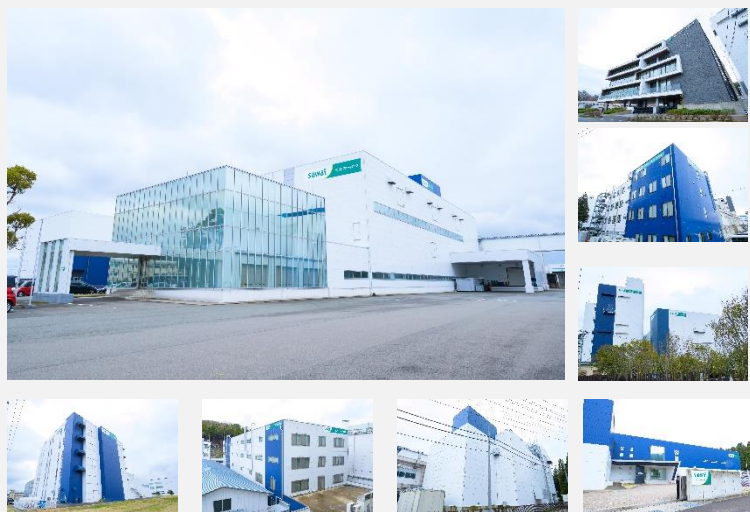
- 2021年12月小林化工の生産活動に係る資産及び関連部門人員の譲り受けトラスト社を設立
- 2024年7月に第二九州工場の新固形剤棟の稼働開始
- 生産能力は、併せて65億錠

## トラストファーマテック

2023年4月出荷開始

所在地:福井県あわら市

生産能力:30億錠



## 第二九州工場 新固形剤棟

2024年7月稼働開始

所在地:福岡県飯塚市

生産能力:35億錠



国の基準を上回るサワイ基準を設けて、品質管理を徹底



## 品質に対する取り組みについての情報開示

沢井製薬の品質に対する取り組みや考え方、教育体制などについて、ホームページ内の特設ページや動画でもご紹介しています



安心してご使用いただくために、的確な情報を迅速にお届けすることも、私たちの品質のひとつ

## 情報提供におけるサワイの強み

- 約370名のMRが、医療関係者の皆さまに情報提供活動を展開
- 24時間365日対応の問い合わせ窓口を設置
- Webサイトを通して、豊富な製品情報や健康情報を提供

sawai medical site



サワイ健康推進課



外部評価機関による薬剤師評価では高評価を保持

日経ドラッグインフォメーション調べ  
「薬剤師が好感を持つ後発品企業の支持率ランキング」



ネグジット総研調べ  
「薬剤師が選ぶ 薬局・薬剤師を大切にしている製薬企業」  
「薬剤師が選ぶ 総合的に最も評価した製薬企業サイト」  
「保険薬局薬剤師が選ぶ 最も評価できるコールセンターを持つ製薬企業」



Part1 ジェネリック医薬品とサワイの存在意義

Part2 当社を取り巻く外部環境

Part3 サワイの強み

Part4 成長戦略

- 社会インフラとして国民の生命と健康を守るために、高品質なジェネリック医薬品を安定供給し続け、業界をリードする存在となる
- ジェネリック医薬品を中核にしつつ、予防や診断領域まで含めた製品・サービスを提供することで、社会課題の解決と社会の発展に寄与する

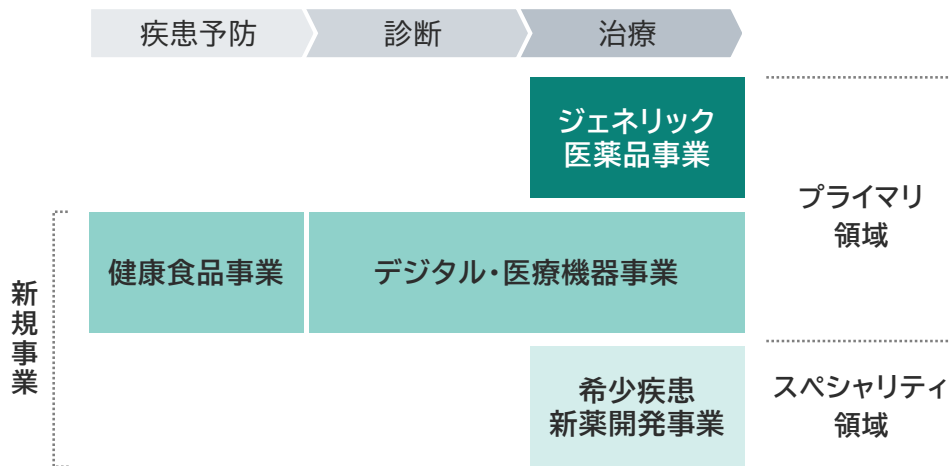
## Sawai Group Vision 2030

### 創りたい世界像

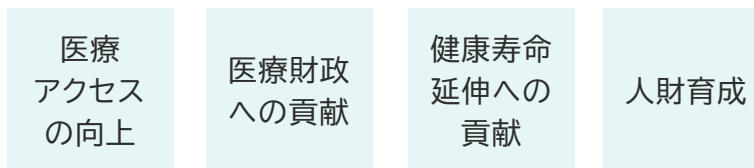
より多くの人々が身近に  
ヘルスケアサービスを受けられ、  
社会の中で安心して生き生きと暮らせる世界

### ありたい姿

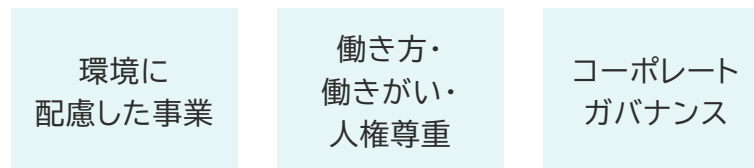
個々のニーズに応じた、科学的根拠に基づく  
製品・サービスを複合的に提供することで、  
人々の健康に貢献し続ける存在感のある会社



### ■ 価値創造につながるマテリアリティ

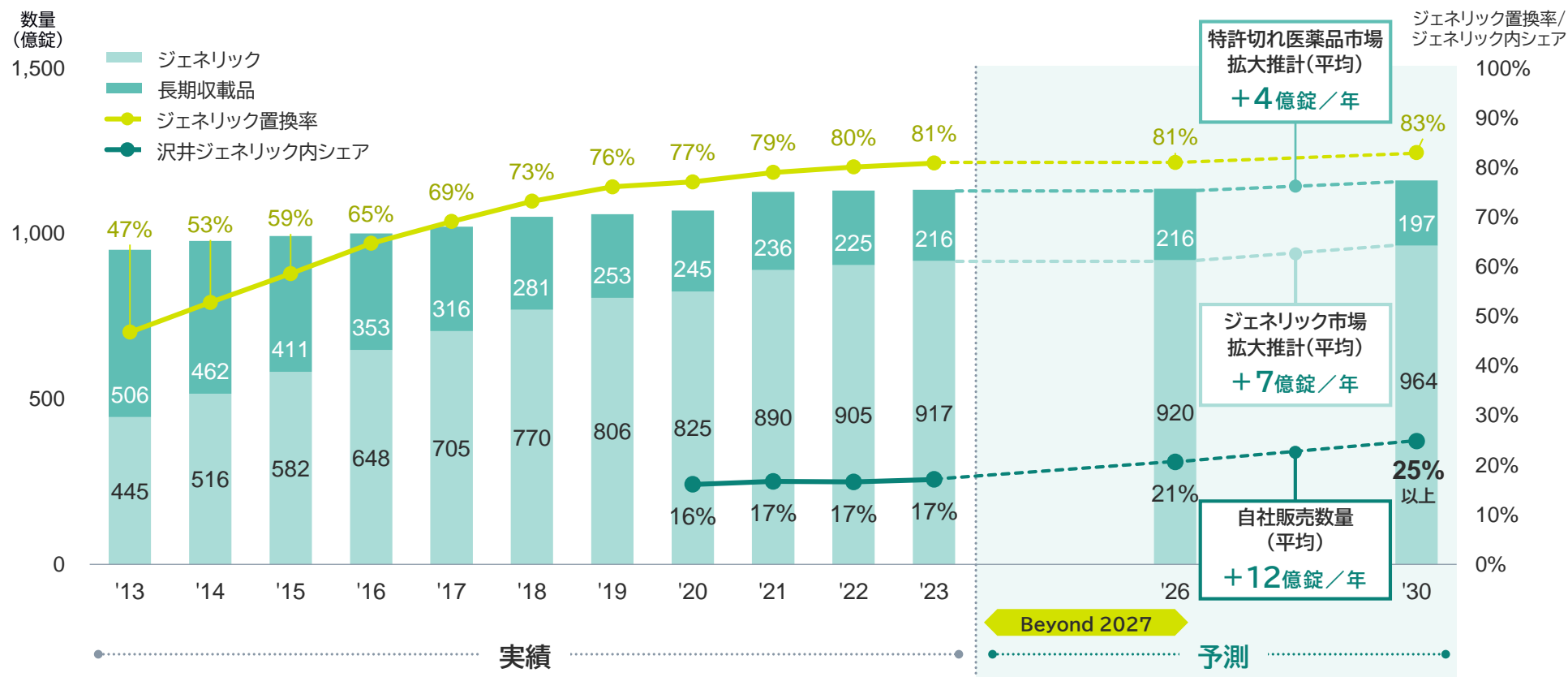


### ■ 持続的成長の基盤となるマテリアリティ



# ジェネリック市場の今後の見通し

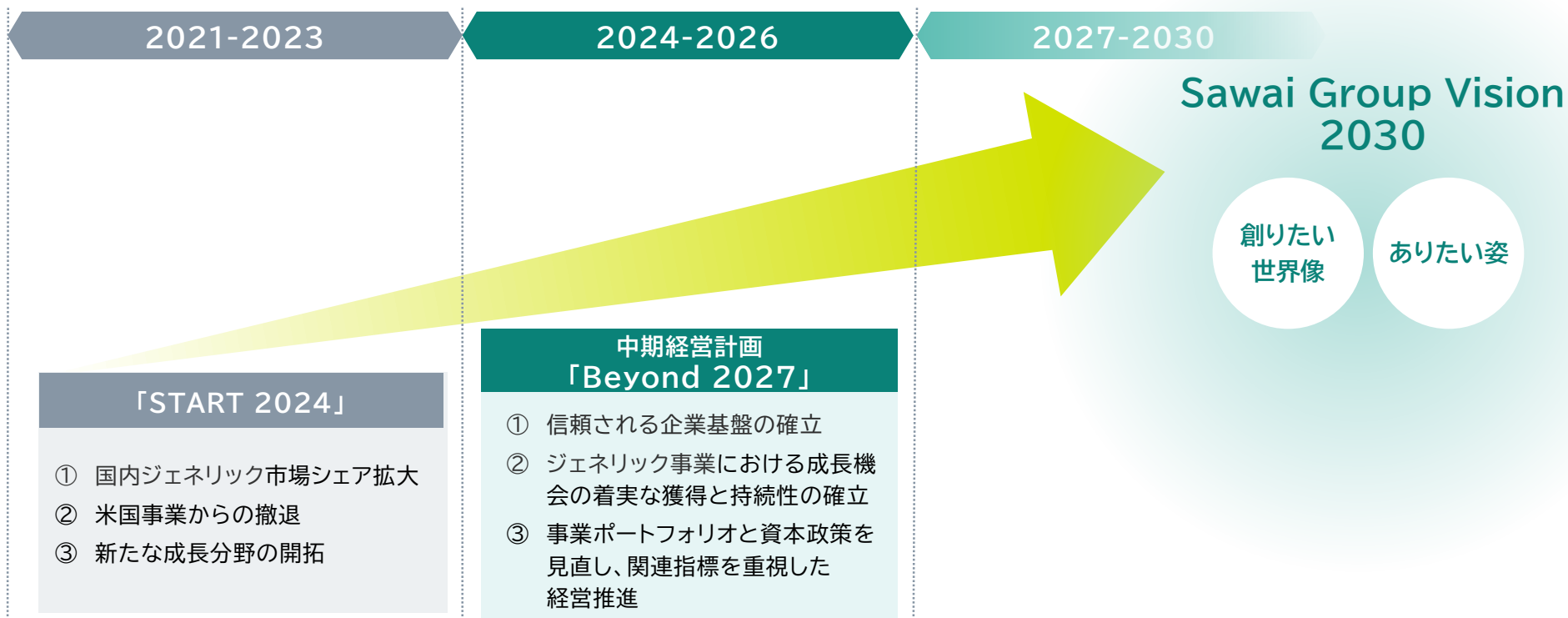
- ジェネリック医薬品市場は人口の高齢化により、年平均7億錠程度の市場拡大を予想
- 生産能力の増強により、市場の伸びを上回る販売数量の増加を実現し、ジェネリック市場内シェア拡大を目指す



各数値は自社推計(数量、ジェネリック置換率、ジェネリック内シェアは、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」欄の区分上の☆及び★を含む数値)  
 ☆:後発医薬品がある先発医薬品の内、先発医薬品と後発医薬品で剤形や規格が同一でない場合や後発医薬品と同額又は薬価が低いもの等  
 ★:後発医薬品の内、先発医薬品と同額又は薬価が高いもの

# 本中期経営計画の位置づけ

- 医薬品不足を解消すべく、早期に自社の生産能力を拡充させ、ジェネリック医薬品企業間の連携・協力を推進
- ジェネリック事業において、品質確保と生産能力拡大のために経営資源を集中  
本中計期間の成長に加え、次期中計期間の飛躍に向けた体制を確立
- 長期成長を見据え、ジェネリック事業とのシナジーが期待できる成長分野への投資を継続



# 事業戦略 ジェネリック市場における着実な成長とビジネス持続性の確立sawai

足元の成長機会を着実に獲得するとともに、ジェネリック医薬品のリーディングカンパニーの矜持を持ち、社会インフラとして持続的に社会に貢献

## 着実な成長

前中計期間の投資によって増強した生産能力を活用し、足元の成長機会を着実に獲得

### 具体的な施策

- 新製品の着実な開発と上市
- 投資済み生産設備の稼働率向上と増産
- 利益品のシェア拡大
- 医療関係者・患者さんが求める安心付加価値の提供

### 成長投資

- 国内ジェネリック医薬品業界トップレベルの研究開発投資の継続(新製品開発、既存品改良)
- 国内トップレベルの生産能力の設備更新
- 本中計期間の生産能力増強(設備投資、他社との提携など)

## ビジネス持続性の確立

社会インフラであるジェネリック医薬品について長期的に安定供給可能なビジネスモデルを確立

- 適正価格での販売
- 不採算品目マネジメント
- 製品ライフサイクルを見据えた研究開発
- 次期中計期間以降の生産能力の継続的な増強

- 次期中計期間以降の生産能力増強(設備投資、他社との提携など)

- 3年間で44品目以上の新製品を発売予定
- 薬の「飲みやすさ」「扱いやすさ」「品質」を徹底追求した技術群「SAWAI HARMOTECH®」や「QualityHug®」により、技術力をブランド化
- 今後も強みである知財戦略、製剤開発力を基盤とする総合的な研究開発力により同業他社を凌駕し、ジェネリック事業全体の収益拡大を図る

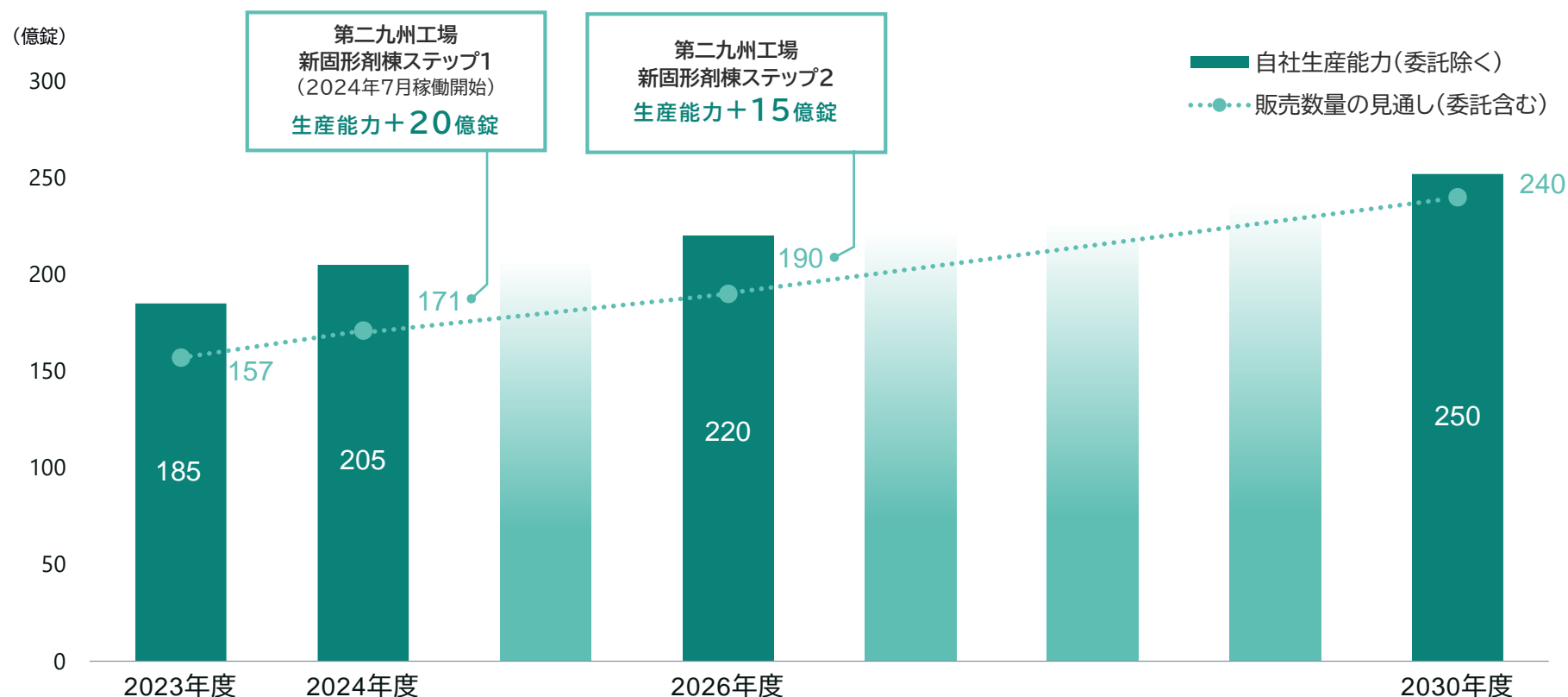
## ■ 新製品発売計画

	2024年度	2025年度	2026年度
成分数	7	7	13
品目数	12	10	22
先発市場(億円)	1,350	1,015	2,000

上記に加え、単独上市品目の発売を目指す

# FY2030に向けた自社生産能力の増強

- ジェネリック医薬品の供給不足問題を解決させるため、生産能力拡充に積極果敢に取り組む
- ジェネリック市場内シェア25%以上を目指すにあたり、自社工場建設、他社との提携等、追加投資を検討
- FY2030においては自社生産能力250億錠体制を目指す



※ 生産能力の前提：現在の品目数について平日2交代で機械を稼働し続けた場合を想定。委託は含んでいない

新規事業を通じた健康寿命の延伸にも貢献

事業領域	案件区分	売上収益貢献 開始時期
デジタル・ 医療機器事業	<b>非侵襲型ニューロモデュレーション機器</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レリビオン®(片頭痛):FY2023に製造販売承認取得、現在保険償還に向け準備中</li> <li>・Proliv Rx(うつ病):Neurolief社で実施した臨床試験の結果を受け、日本国内での開発に着手</li> </ul>	2025年度
	<b>SWD002(NASHを適応症とする治療用アプリ、株式会社CureAppとの共同開発)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年1月よりフェーズ3試験を開始、FY2027上市予定</li> </ul>	2027年度
	<b>減酒治療補助アプリ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年2月、株式会社CureAppより申請していた薬事承認が薬事・食品衛生審議会プログラム医療機器調査会にて了承、FY2025上市予定</li> </ul>	2025年度
	<b>SaluDi (PHR管理アプリ)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル販促資材としての医療機関展開をさらに促進。マネタイズも検討継続</li> </ul>	今中計期間中
ジェネリック医薬品の海外輸出	<b>中国、ASEAN地域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地パートナー企業と連携しての海外展開を検討中</li> </ul>	今中計期間中
新薬事業 (オーファン疾患)	<b>希少疾患用医薬品(オーファンドラッグ)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規パイプラインを探索中</li> </ul>	-

## パーソナルヘルスレコード(PHR)管理アプリ



- 日々の健康情報を記録し、未病・予防をサポートするアプリ
- 医療機関や自治体、他業種などと連携し、地域住民や企業従業員の健康維持増進をサポート



日々の記録を  
スマートに

血糖値や血圧  
の手帳管理

オンライン診療

生活習慣病  
予防情報

日々の健康を見える化し、  
健康管理と生活習慣病の改善をサポート

## 非侵襲型ニューロモデュレーション機器

### レリビオン®

- 頭部に装着して使用する非侵襲型ニューロモデュレーション機器
- 薬物治療しか選択肢が無い片頭痛急性期治療の幅を広げる期待



電気神経刺激を与えることによって  
片頭痛(急性期)の痛みを緩和

# 経営基盤の強化 キャッシュアロケーション

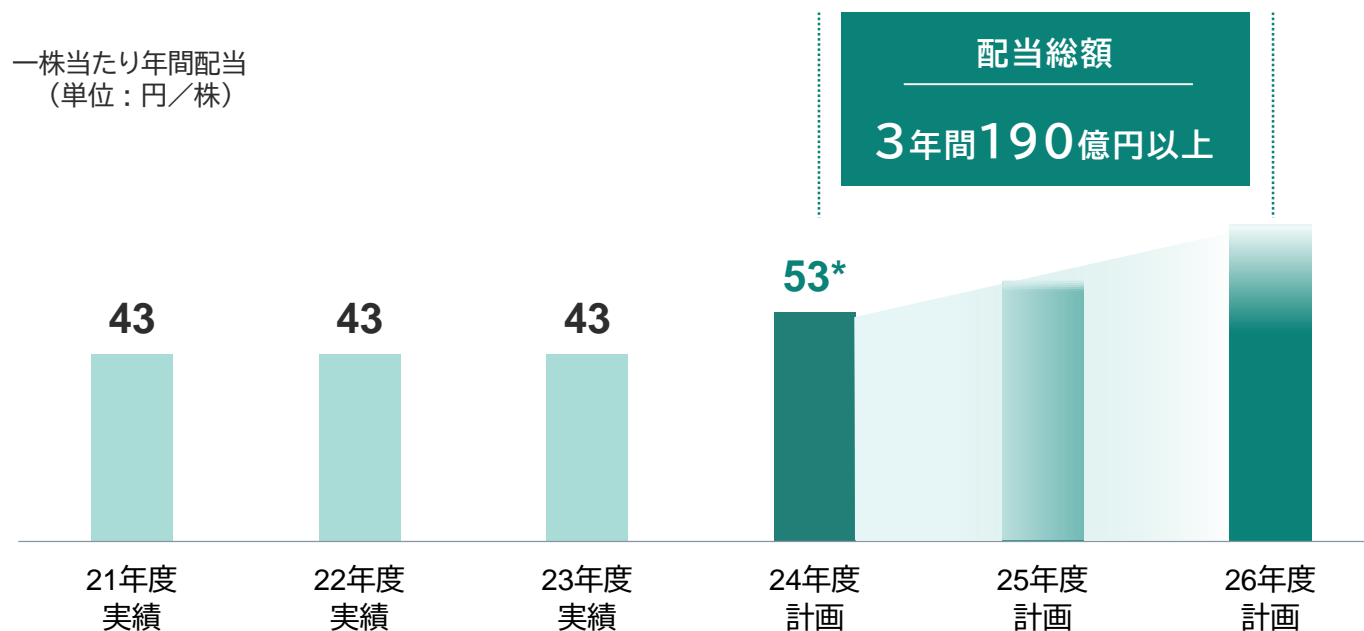
- 3年間の営業CFと事業・資産売却資金約1,900億円を原資とし、戦略的な資金配分を実施
- 新たな成長につながる投資を積極的に実行し、中長期的な事業成長と資本収益性の向上を目指す

	用途	金額	方針
ジェネリック事業の 営業C/F※ 3年想定 約1,450億円  ※研究開発費 控除前	研究開発投資 (ジェネリック事業)	約350億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 成長の源泉である新製品の上市に向けた研究開発投資</li> </ul>
	ジェネリック事業	約785億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 工場における設備更新(3年間で270億円)</li> <li>• 生産能力増強(3年間で312億円)</li> <li>• 信頼性保証体制強化のためのシステム投資(37億円)</li> <li>• その他投資</li> </ul>
	新規事業	約35億円 + $\alpha$	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規事業への投資(SWD001販管費、SWD002開発費、ジェネリック海外輸出開発費など)</li> </ul>
	機動的 アロケーション	約210億円 + $\alpha$	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FY2030に向けた生産能力増強</li> <li>• 計画以外の成長投資</li> </ul>
米国事業・政策 保有株等売却 約450億円  R&I格付 A - 機動的資金調達 + $\alpha$	成長投資 1,380億円 + $\alpha$  株主還元 520億円 + $\alpha$	自己株取得 約330億円 + $\alpha$  配当 3年間の配当総額 190億円以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 米国事業売却代金並びに政策投資株式の売却代金等を活用し、USL買収時に行った増資による自己資本増加分を清算</li> <li>• 中長期的な利益水準、DOE(目標:3%以上)等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的な配当を実施</li> </ul>

	事業	2023年度 実績	「Beyond 2027」 目標	「Vision 2030」 2030年度 (2024年6月公表)	「Vision 2030」 (2021年5月公表)
売上収益	ジェネリック 事業	1,769億円	2,190億円	3,000億円	2,600億円
	新規事業	0.1億円	10億円	100億円	800億円
	連結	1,769億円	2,200億円	3,100億円	4,000億円 (米国事業600億円含む)
コア営業利益	連結	239億円	330億円	—	—
営業利益	連結	186億円	310億円	—	—
ジェネリック内シェア/ 販売数量	ジェネリック 事業	17.1%/157億錠	20.5%/190億錠	25.0%以上/240 億錠	20.0%以上/200 億錠
自社生産能力	ジェネリック 事業	185億錠	220億錠	250億錠以上	230億錠以上
ROE	連結	6.6%	10%以上	13%以上	10%以上
ROIC	連結	4.8%	8%以上	10%以上	—
Net DEレシオ	連結	0.27	0.4以下を目安	—	—
自己資本比率	連結	55.7%	50%以上を目安	—	—
DOE	連結	2.7%	3.0%以上	—	—

- 配当：中長期的な利益水準、DOE等を総合的に勘案しながら安定的かつ継続的な配当を目指す
- 自己株式取得：資本効率向上と株主還元策の一環として、フリーキャッシュフロー、市場動向等を踏まえ、機動的に実行

	21~23年度の実績	新中期経営計画(24~26年度計画)
DOE	2.8%	3.0%以上
自己株式取得	実績なし	330億円+ $\alpha$



\* 2024年10月1日付の株式分割後換算(小数点以下四捨五入)

# 当社の株価推移(過去5年)



\* 2024年10月1日付の株式分割後換算(小数点以下四捨五入)

# END

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。